



会報

防府

防府天満宮 春風楼（防府市）



第75回定時総会



日本土地家屋調査士会連合会定時総会



中国ブロック協議会定時総会



CONTENTS



No.137-2021

9

山口県土地家屋調査士会役員名簿				1
会長就任挨拶	会 長	杉山	浩志	2
副会長就任挨拶	副 会 長	大來	博康	3
副会長就任挨拶	副 会 長	井上	哲也	4
副会長就任挨拶	副 会 長	乗川	慎二	5
第 74 回定時総会報告	前総務部長	周原	稔	6
日本土地家屋調査士会連合会定時総会報告				
	広報担当副会長	乗川	慎二	7
中国ブロック協議会定例総会報告				
	広報部長	西村	暢夫	9
第 1 回本部研修会報告	広報担当副会長	乗川	慎二	10
第 2 回本部研修会報告	業務部理事	安永	健士	11
支部総会報告				
	岩国支部支部長	田村	直久	12
	周南支部	西田	泰則	13
	防府支部副支部長	山根	良吾	14
	山口支部副支部長	梶山	実	15
	萩支部支部長	河内	浩己	15
	宇部支部副支部長	松村	幸雄	16
	下関支部副支部長	山田	篤志	16
杭の日「無料相談会」報告				
	岩国支部理事	西田	稔	18
	周南支部理事	角西	泰己	19
	山口支部理事	大森	淳一	20
	宇部支部企画委員	村田	淳	21
第 12 回全国一斉不動産表示登記無料相談会報告				
	広報部理事	廣石	勝	22
各部紹介				23
事務所紹介				
	周南支部	戸倉	茂雄	26
	周南支部	角西	泰己	28
青調会の活動				
第 12 回山口県青年土地家屋調査士会定時総会報告				
	山口青調会副会長	百合野	崇	30
会員の作るページ				
ずばらな虹はタルムード	岩国支部	浦井	義明	31
「通天閣」界限	萩支部	廣石	勝	32
事務局だより				33
広報部からのお知らせ				34

山口県土地家屋調査士会 役員名簿

任期 令和3（2021）年5月～令和5（2023）年5月

役職	氏名	支部	役職	氏名	支部		
会長	杉山浩志	岩国	相談役	戸倉茂雄	周南		
				清水浩二	下関		
副会長	担当	総務	参与	三好一敏	萩		
		業務・社会事業		井上哲也	岩国		
		財務・広報		乗川慎二	周南		
理事	総務部	常任理事	オンライン委員会	委員長	渡邊英雅	山口	
		部員		委員	井上哲也	岩国	
		〃		委員長	井上哲也	岩国	
	財務部	常任理事	山林地図検討委員会	副委員長(公嘱協会)	渡邊英雅	山口	
		部員		委員	古江直樹	萩	
		〃		アドバイザー	山崎耕右		
	業務部・社会事業部	常任理事	注意勧告理事	統轄理事	杉山浩志	岩国	
		部員		理事	井上哲也	岩国	
		〃		〃	乗川慎二	周南	
	広報部	常任理事	〃	〃	大來博康	山口	
		部員	〃	〃	原田英樹	山口	
		〃	廣石勝	萩			
	境界問題解決支援センターセンター長(常任理事)		大田浩治	下関	山口法律関連士業ネットワーク理事	杉山浩志	岩国
	監事	代表監事	浦井義明	岩国	〃	西村暢夫	宇部
		監事	篠田智昭	防府	会館維持管理員	杉山浩志	岩国
〃		竹下治	下関	〃	中川秀幸	下関	
綱紀委員	予備監事	青木正治	山口	境界問題解決支援センター	センター長	大田浩治	下関
	委員	田村直久	岩国		副センター長	山根克彦	山口
	〃	富永弘	周南		副センター長(弁)	中光弘治	
	〃	松田光則	防府		運営委員	浦井義明	岩国
	〃	澤田誠	山口		〃	林弘	周南
	〃	澤村修一	萩		運営委員(弁)	中山修身	
	〃	高杉千河生	宇部	〃	堀勉		
予備綱紀委員	予備綱紀委員	河近卓美	岩国	財産管理人支援センター	運営委員長	大來博康	山口
	〃	今川竜一	周南		運営副委員長	山根克彦	山口
	〃	内田博司	防府		委員(公嘱協会)	八田廣	下関
	〃	平岡真二	山口	支部長会	支部長会議長	越智隆次	防府
	〃	河内浩己	萩		支部長会副議長	星本武志	下関
	〃	高野一夫	宇部		支部長	周原稔	岩国
顧問	瀬口潤二	西本聡士	周南	〃	永瀬勝博	周南	
				〃	益田正規	山口	
				〃	古江直樹	萩	
				〃	若林功	宇部	

会長就任挨拶



会長 杉山 浩志

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、先の定時総会において、会長に就任いたしました杉山浩志でございます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症によって、我々の生活が大きく変わり、少なからず皆様方の業務においても影響があったことと存じます。

本会の会務においても、感染拡大防止のため、様々な事業等について延期あるいは中止という判断をせざるを得ない場面が多数ございました。

その中でも特に、皆様と共に盛大に祝す予定でありました土地家屋調査士制度制定70周年の記念式典・講演会等の開催が出来なかったことは遺憾にたえませんでした。

しかしながら、このような中においても、記念事業としての「記念誌」の発行や「松下村塾」及び「吉田松陰幽囚ノ旧宅」の建物表題登記の実施、そして「山口県のへそ」と名付けた「山口県の重心点」の整備等を行うことが出来、TVでも大々的に放送していただけたことは、多くの県民の皆様方に「土地家屋調査士」の存在を知っていただく良い機会になったのではないかと考えております。特に当会が、世界文化遺産である「松下村塾」の登記を為し得たことは、私も一山口県民として大変光栄なことであったと強く感銘を受けております。

今回の記念植樹として、松陰神社本殿横に「神大曙」(ジンダイアケボノ)を植樹(表札付)しておりますので、お参りの際には一度

ご覧いただけたらと存じます。

さて、私は6年前に会長として就任し、「土地家屋調査士の経営基盤の安定」、「専門家責任の担保」、「会の財政の健全化」という3つの大きな目標を掲げて船出いたしました。この6年間で役員・事務局の皆様方の一方ならぬご労苦、そして会員の皆様方の心強いご理解とご協力により、掲げた目標の多くについては、かなりの成果を上げることが出来たのではないかと考えております。

今期は、引き続きコロナ禍の中での発進ではございますが、気持ちを新たに、次の3つの目標を掲げ会務運営を行っていきたくと考えております。

1つ目は、デジタル化を含めた、コロナ禍をプラスに変える会務運営の実施

2つ目は、我々の経営基盤の安定のために、さらなる方策として、関係各所に対して様々な提言や要請を行うだけではなく、非調査士に対しても強い姿勢で立ち向かい、土地家屋調査士制度を堅守します。

そして、3つ目は、次世代を担う会員や役員等の人材育成です。

まだまだ多くの課題も有りますが、希望の種も、それ以上に沢山あります。

これからの土地家屋調査士制度の発展のため、執行部一同、引き続き全力で取り組んで参りたいと考えておりますので、今後とも、皆様方には、さらなるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

副会長就任挨拶

副会長 大來 博康



第74回定時総会におきまして、副会長に選任されました山口支部の大來博康です。これまで、財務部長を1期2年、総務部長を1期2年務め、そして前期2年に引き続き、今期も副会長として総務部を担当させていただくことになりましたので、よろしく願いいたします。

今期の総務部は、前期財務部長を務められ、今期の総務部を任せられるのはこの人しかいないと人選させていただいた原田部長を筆頭に、総務部を経験して来られ昨年度の要覧改訂にもご尽力いただいた米原理事、初めての理事にして総務部を担当していただく西田理事と、山口会では比較的若い役員により構成されておりますが、様々な会務を担当する総務部としては、フットワークを軽くして会務を行っていききたいと思います。

総務部の役割は、会則規則等の整備と苦情相談等への対応が主となります。

会則規則等の整備は、昨年度要覧改訂を行ったばかりですが、コロナ禍に対応する会議規則の整備や、今年度から始まる「年次研修」への対応、その他、所有者不明土地対策に向け整備される法律へも対応していくことになると思いますので、会員の皆さんが安心して業務が出来るよう、新しい情報へのアンテナを張りながら対応して行きたいと思っております。

苦情相談等への対応については、会へ寄せられる様々な相談・苦情へ対応しています。

昨年度は、苦情の件数もさることながら、その内容も、より高度なものとなっています。インターネット等により、いろいろな情報を取得することが可能となっていますので、〇〇県ではこのような事例で業務停止を受けているのだから、この調査士も処分されるべきだと、事前に法や事例まで調べてから会へ連絡される方もいらっしゃいました。本部研修で前期の総務部が担当した「懲戒事例研修」にもありましたが、依頼者・隣接者へあと少し、もうひと言説明があればここまで大きな問題にはならなかったと思われる事例も多く、資格者に対する国民の期待の高さの現れとも感じ取れます。総務部では、相談者と会員双方の意見を十分に伺いながら対応しておりますので、もし総務部から連絡があった際には、ご理解ご協力いただけますようお願いいたします。

近年職業倫理を厳しく問われるようになる中、会員数の減少という問題も抱えておりますが、これから土地家屋調査士として活躍できる可能性は自ら切り開いていく時期にあると感じています。自分の役割をしっかりと考え、連合会との連携に然り、山口会の発展と制度の充実のため、微力ではありますが、杉山会長を補佐し会務に邁進したいと思っておりますので、ご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

副会長就任挨拶

副会長 井上 哲也



令和3年度の定時総会にて、副会長に選任されました、岩国支部の井上哲也です。今期も業務部と社会事業部を担当することとなりました。

昨年は、コロナ禍にあり、集合にて本部研修会の開催ができず、主にオンラインを活用しての研修会を開催いたしました。試行錯誤の連続でしたが、オンラインによる研修会もスムーズな運用ができる様になり、事務所からでも研修会に参加して頂けることが可能となりました。集合研修のメリットは沢山ありますが、今期からはコロナの状況を見据えながら集合とオンライン併用の研修会を開催することとなると考えております。

又、今年度より連合会主催による年次研修（義務研修）も開催されます。この研修の目的は、土地家屋調査士会員の資質の向上及び業務の改善を図ることです。全会員の受講をお願い致します。

今後益々、我々の業務は多岐にわたってゆきます。所有者不明土地管理人制度、財産管理人支援、空き家対策問題などです。

これらの問題にどの様に関わり、リーダーシップを取ってゆくかで土地家屋調査士制度の充実発展及び国民に対する認知度は大きく変わってまいります。会員の皆様方にはご協力いただくことが益々多くなるかと思っておりますが、宜しくお願い致します。

昨年、土地家屋調査士法第一条が下記の通り改正されました。

「土地家屋調査士は、不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家として、不動産に関する権利の明確化に寄与し、もって国民生活の安定と向上に資することを使命とする。」

筆界は、土地家屋調査士の一丁目1番地です。我々は日々、筆界と所有権界との間で悩みながら業務を行っております。悩まなくなれば、土地家屋調査士ではないのではないかとともに思います。

この改正により、筆界を明らかにする業務の専門家として、国民生活の安定と向上に資することが使命となりました。

「神のみぞ知る筆界」とも言われますが、少しでも神に近づける様に努力をしなければなりません。今期も筆界に関する研修を開催する予定です。積極的な参加をお願い致します。

最後になりますが、今期より政治連盟の会長も拝命しております。昭和25年に議員立法により設立された土地家屋調査士制度が、更に充実発展するためには政治連盟の活動もますます重要となります。本会、公嘱協会と情報交換を進めながら、土地家屋調査士制度の理解を行政に対しても申し入れてゆこうと考えております。

今期、大下業務部長を中心に、山根部員、安永部員、阿川部員と共に、会員皆様方のご指導、ご協力を頂きながら諸問題に取り組んでゆきますので、よろしく願いいたします。

副会長就任挨拶



副会長 乗川 慎二

第74回定時総会におきまして、副会長に選任されました周南支部の乗川慎二です。今まで総務部理事を1期2年、総務部長を2期4年、副会長を2期4年務めさせて頂き、今回も前回に引き続き財務部、広報部を担当させて頂く事になりました。財務部は前年度、業務部理事として活躍された中川秀幸理事が財務部長に就任され、広報部は前年度、総務部理事として活躍された西村暢夫理事が広報部長に就任されました。お二人とも初めての部長ですが非常に優秀なので、十分に力を発揮して頂けると思います。留任の私が財務部、広報部の足を引っ張らないように努力していきたいと思っています。

財務部の主な事業としては予算の執行、予算内容の検討がございます。会の資産を把握し、あらゆる角度からの検証、検討を行い、支出の削減に努め、スムーズな会運営が出来るようにして行きたいと思っています。併せて、調査士会館の運営、維持管理についても検証、検討したいと思います。又、会員数も減少しておりますので会員数推移シミュレーション

を行い、10年後、20年後の山口会の運営について検討したいと思います。

広報部の主な事業としては会報やまぐちの発行がございます。年3回の発行で本会や支部の事業報告等の情報を会員の皆様により分かりやすく伝達したいと思いますし、会報のあり方等についても検討したいと考えております。昨年度はコロナ禍で本会はウェブ研修を何回か実施しましたが、支部研修は殆どが中止となり事業報告が少なく、思うように会員の皆様に情報をお届けする事が出来ませんでした。広報部で会報の掲載内容等を検討し、会員の皆様に役立つ情報を掲載出来ればと考えております。会員の皆様にも原稿依頼等をお願いする事があると思いますので、その際にご支援、ご協力の程、よろしくお願い致します。

最後に、微力ではありますが杉山会長を補佐し、会員の皆様のご指導ご協力を頂きながら、少しでも会務の運営のお手伝いが出来ればと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

第74回定時総会報告

前総務部長 周原 稔

第74回山口県土地家屋調査士会の定時総会が、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に留意した上で、下記のとおり開催されました。

1. 日時 令和3年5月28日（金）
午後2時00分～午後4時10分
2. 場所 山口市湯田温泉三丁目5番8号
「湯田温泉ユウベルホテル松政」
3. 出席者 156名（会員総数216名）
本人出席 38名
委任状出席 118名
4. 議案
 - 第1号議案
 - (1) 令和2年度一般会計収支決算報告承認の件
 - (2) 令和2年度特別会計収支決算報告承認の件
上記の監査報告
 - 第2号議案
令和3年度事業計画（案）
審議の件
 - 第3号議案
 - (1) 令和3年度一般会計収支予算（案）審議の件
 - (2) 令和3年度特別会計収支予算（案）審議の件
 - 第4号議案
「山口県土地家屋調査士会会則」及び「山口県土地家屋調査士会綱紀委員会規則」一部改正の件
 - 第5号議案
役員改選の件

5. 議事

議長に益田正規会員（山口支部）、副議長に若林功会員（宇部支部）が就任し、議事の進行を行なった。

会務報告及び事業報告後、第1号議案ついて執行部の説明後、質疑を求めたが質問はなく、執行部の提案通り承認可決された。

第2号議案及び第3号議案については、関連する為一括上程され、執行部の説明後、質疑を求めたが質問はなく、執行部の提案通り承認可決された。

第4号議案については、特別決議に該当する旨議長が宣言し、執行部の説明後、質疑を求めたが質問はなく、特別決議の要件に則り議場に諮り、執行部の提案通り承認可決された。

第5号議案については、田村直久選挙管理委員長より会長候補者として杉山浩志会員（岩国支部）1名から届出があった旨の報告があり、議長が表決による選挙を行なった結果、挙手多数により杉山浩志会員が会長に選任された。

次に、林弘役員推薦委員長より副会長候補者として井上哲也会員（岩国支部）、乗川慎二会員（周南支部）、大來博康会員（山口支部）の3名を推薦候補者とする旨の報告があり、同議長が候補者毎に表決による選挙を行なった結果、挙手多数により提案通り3名が副会長に選任された。

さらに、各支部より推薦された役員候補者について採決を行なった結果、挙手多数にて承認可決された。

議長は、以上にて全議事が終了した旨を宣言し降壇した。

続いて、乗川慎二副会長が閉会の辞を述べ散会した。

本総会も去年と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、来賓等の招待を中止し式典については、表彰式（杉山会長から代理授与を含む）及び制度制定70周年特別感謝状等の授与式のみを行った。

以上にて第74回定時総会のご報告とさせていただきます。



日調連総会 報告

日本土地家屋調査士会連合会 第78回定時総会報告

副会長 乗川慎二

令和3年6月15日（火）に日本土地家屋調査士会連合会の第78回定時総会が東京ドームホテルにて開催された。山口会からは代議員として杉山会長と私が定時総会に出席した。

昨年の定時総会はコロナ禍であった為、総会出席者は東京直近県の執行部及び東京会、神奈川会、埼玉会、千葉会の会長の計9名のみで、その他の各県単位会会長並びに全代議員は総会に参集することなく、東京直近県の東京会、神奈川会、埼玉会、千葉会の会長に議決権の行使を委任する方法で、会場も連合会会議室で開催され、総会の状況を各県単位会会長並びに代議員はライブ配信で視聴したが、今回の定時総会は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言中でもあるが、第2号議案「役員等選任の件」があり、会長選挙等も行われるので、通常は2日開催の定時総会を1日開催とし、各議案の説明や質問・要望については令和3年6月11日（金）にライブ配信で行われ、定時総会出席者は希望者のみとし、欠席される代議員は出席される代議員に委任する方式をとり、当日は代議員152名中79名が出席され、昨年に続き例年と異なる方法で

定時総会が開催された。又、昨年に続き法務大臣表彰授与式、連合会長表彰授与式、来賓挨拶等は中止となった。

13時30分から定時総会が開会され、國吉連合会会長の挨拶があり、その後、議事が開始された。

1. 議案

第1号議案

- (イ) 令和2年度一般会計収入支出決算報告承認の件
- (ロ) 令和2年度特別会計収入支出決算報告承認の件

第2号議案

役員等選任の件

第3号議案

日本土地家屋調査士会連合会会則の一部改正（案）審議の件

第4号議案

令和3年度事業計画（案）審議の件

第5号議案

- (イ) 令和3年度一般会計収入支出予算（案）審議の件
- (ロ) 令和3年度特別会計収入支出予算（案）審議の件

第1号議案、第3号議案から第5号議案については、執行部の提案通りに承認可決された。

第2号議案の役員改選の件では、会長立候補者が3名、副会長立候補者が4名おられた。投票用紙は事前に代議員に送られており、定



時総会までに郵送するか、当日の受付時に持参する方法で行われた。

まずは会長立候補者の選挙が行われた。会長選挙の当選の条件は代議員数の過半数票を獲得しなければならないが、1回目の投票で愛媛会所属の岡田潤一郎会員が過半数を獲得され2回目の連合会会長に選任された。

続いて副会長選挙が行われ、副会長選挙は4名中3名の立候補者を投票用紙に記入する方法で行われ、結果、千葉会所属の鈴木泰介会員、福岡会所属の野中和香成会員、神奈川会所属の鈴木貴志会員の3名が選任された。

今回の定時総会もコロナウイルスの感染状況に振り回され、通常とは異なる形での開催となり、事前に連合会からウイルス検査キットが届き、検査結果を確認したうえでの定時総会出席が条件となっていた。又、1日開催と言う事で、時間的な問題を解消する為のライブ配信での議案説明、質問・要望対応を行

い、選挙にあたっては数多くのパターンが想定され、その条件を満たした投票用紙を事前に代議員に郵送作業等が発生し、連合会執行部や事務局のご苦勞、ご心痛が大変であったと思われるし、各会の代議員に至っては定時総会へ出席する事への葛藤もあったと思われる。

コロナウイルスの早期終息を願うと共に、来年こそは通常の形式で定時総会が開催される事を願うばかりである。



中国ブロック 総会報告

日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会 第64回定例総会報告

広報部長 西村暢夫

第64回日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会の定例総会が岡山県岡山市において下記の通り開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来賓はお招きせず、セレモニーや表彰式は行わず、時間を短縮し、出席者の人員を極力減らして、総会のみを執り行うことになった。

山口会から役員として杉山浩志会長（中国ブロック協議会副会長）、乗川慎二副会長（中国ブロック協議会監事）、代議員として大來博康副会長、中川秀幸財務部長、西村暢夫広報部長が出席した。

開催日時 令和3年6月25日（金）
午後2時00分より4時00分まで
開催場所 岡山県岡山市北区本町6番30号
第一セントラルビル1号館9階
出席者数 構成員総数39名中27名
（代理人出席12名）

○報告事項 令和2年度事業・会務報告
議案書に基づき令和2年度事業・会務報告を行った。

○第1号議案 令和2年度収支決算報告書承認の件及び監査報告



上記議案の報告及び監査報告が行われ、賛成多数で承認可決された。

○第2号議案 令和3年度事業計画（案）審議の件

○第3号議案 令和3年度収支予算（案）審議の件

議案の採決に入り、賛成多数で承認可決された。

○第4号議案 役員改選の件

中国ブロック協議会の会長に三好正之代議員（鳥根会会長）が選出された。

以上、滞りなく議事が終了したことを報告致します。

次期開催地の担当会として鳥取会の遠藤公章会長から挨拶があった。

最後に日本土地家屋調査士会連合会の会長に就任された岡田潤一郎会長が来られ就任のあいさつがあった。

新型コロナウイルスが早く終息に向かい、各定時総会や土地家屋調査士の行事等、通常に行われることを願うばかりである。



本部研修会報告

第1回本部研修会（Web研修）報告

副会長 乗川慎二

令和3年4月27日（火）9時30分より、第1回本部研修会がWeb研修で開催された。

研修内容は、①土地家屋調査士年次研修について

②土地家屋調査士業務取扱要領について

③やってみようオンライン申請（第2部建物表題登記編）

の上記3本立てで開催された。

① 土地家屋調査士年次研修については、本年度から実施され、所属する土地家屋調査士会が指定する時期に本研修会を受講しなければならない義務研修である事、現時点の予定等の説明が業務部よりあった。

③ やってみようオンライン申請（第2部建物表題登記編）については、前回の研修会で説明があった「やってみようオンライン申請」の建物編であり、オンライン申請を行うまでの操作方法等の説明が業務部よりあった。

② 土地家屋調査士業務取扱要領については、令和3年6月1日から運用を開始された土地家屋調査士業務取扱要領作成の経緯、位置付け、基本的方向性、今までの調査・測量要領との違いについて、私が説明させていただいた。

ご存じのように令和2年8月1日に施行された土地家屋調査士法の一部改正により、土地家屋調査士法第1条が目的規定から使命規程に改正され、それに併せて懲戒手続に関する規定の見直しが行われ、土地家屋調査士又

は土地家屋調査士法人に対する懲戒権者を法務局又は地方法務局長から法務大臣に改めることとなり、法務省より懲戒権者が法務大臣に一元化されることも踏まえて全国統一に定めるものを作成してもらいたいとの要望があり、それに対応する為に、土地家屋調査士職務規程を創設し、その中に定める要領として、本業務取扱要領を制定する運びになった。

簡単に言えば、「最低限必要なルールとしての作りこみ」であり、「懲戒処分の対象となるもの」に位置付けられるものである。

今後は全国で会則に位置付けられる予定である。

会員の皆さんにしてみれば当たり前の事かもしれませんが、今一度初心に戻って確認していただければと思う。

又、日調連のホームページに業務取扱要領のEラーニングがあるので、各自、視聴していただき、本要領の内容を理解され、日常業務を行っていただければと思う。



第2回本部研修会（Web研修）報告

業務部理事 安永健士

日時：令和3年8月5日（木）
13時30分～16時30分

場所：Web研修（配信ソフト：Zoom）

内容：①消費税の適格請求書等保存方式
（インボイス制度）について

講師 山口税務署法人課税第一部門
渡邊竜三統括国税調査官

②筆界特定制度について

講師 山口地方法務局
不動産登記部門 筆界特定室
藤原研治総括表示登記専門官
濱本一夫表示登記専門官

参加者：会員72名 他会10名 合計82名

新型コロナウイルス感染症の拡大影響により、Zoomを使用したオンライン研修での開催となりました。

第1部では、令和5年（2023年）10月1日から導入される消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）についての講義して頂きました。講義を聴くまでは制度の詳細まで

はよく知らなかったのととても有意義なものでした。

第2部では筆界特定制度について講義して頂きました。筆界特定申請についての具体的な事例を用いた説明もあり、大変参考になりました。

今回もZoomを使用したオンライン研修が行われましたが、従来の集合研修と違い、受講される会員の方々の移動等の負担はなく便利であるという事、また感染しない・させないという面からも、web研修、会議等はより活用されていくと思います。これからも今までの生活様式からの変化と上手く付き合っていく、日常業務を行っていく必要性を再確認しました。また、新型コロナウイルス感染症が終息したら、従来の集合研修での開催も出来たらと思います。

最後にご多忙の中、講師を引き受けて下さった渡邊竜三統括国税調査官、藤原研治総括表示登記専門官、濱本一夫表示登記専門官に感謝申し上げます。



岩国支部定時総会報告

岩国支部支部長 田村直久

令和3年5月7日（金）午後4時より、岩国市周東総合支所、周東中央公民館にて、岩国支部定時総会が会員数33名の内、出席者19名、委任状出席者10名、計29名の出席で開催されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症により総会を開くことなく、書面による決議をお願いしました。昨年一年間、研修会等すべての行事を中止したので、今年は、総会だけでも会員同士対面できる機会をとの思いから少しばかり強引に開催しました。結果は、予想外の出席者19名の参加者がありました。今年の4月、逝去された故・中島順一会員の黙祷後、来賓である杉山会長より祝辞を頂き、尾崎友浩会員に議長をお願いし、例年どおり、活発な議論のなか、下記議案を審議し、原案どおり、承認可決されました。

議 事

- 第1号議案 令和2年度事業報告の件
- 第2号議案 令和2年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案 令和3年度事業計画（案）承認の件
- 第4号議案 令和3年度収支予算（案）承認の件
- 第5号議案 役員改選の件

その他の事項において、周原稔・新岩国支部支部長を迎え、昨年、できなかった支部活動を反省し、変異型コロナウイルス感染を考慮しながら、研修会、懇親会を積極的に行うことを新役員とともに約し閉会した。

最後に、岩国支部恒例の総会後の研修会、懇親会を行うことができなかったことは残念でした。



周南支部定時総会報告

周南支部 西田泰則

令和3年5月7日（金）13時30分から、周南市シビック交流センターにおいて、令和3年度周南支部定時総会が開催された。時節柄、出席者は僅かであるが、下記議案を審議し、原案通り承認可決された。

議 事

第1号議案 令和2年度事業報告の件
令和2年度収支決算報告承認の件

第2号議案 令和3年度事業計画（案）承認の件
令和3年度収支予算（案）承認の件

第3号議案 役員改選の件

会員数 36名（本人出席10名、委任状出席25名 合計35名出席）

去年の定時総会報告には、来年はリモート総会になるなどと出任せを書いた。最近、何度かZoomミーティングなるものに参加して、今更ながら驚嘆したのだが、総会ともなると

そんな単純な話ではなかった。宜^{うべ}なるかな。

さてZoomではない本物の総会は、周南市役所2階のシビック交流センターの一室を借り、出席者10名、来賓なしのながら空きの部屋で、世にもひっそり挙行された。写真では、ほとんど研修会にしか見えないが、支部総会で間違いはない。DIY感マシマシであるが、お疑いあるべからず。

総会では、久しぶりにお顔を拝した人も多い。研修や懇親会がやりにくい状況下では、誰に会っても、長くお目にかかっている気がする。近況を伝えあう機会も自ずと減る。只々早期収束を願うばかりである。

今期限りで曾根支部長が退任され、来期は永瀬会員が支部長に就く。片や重荷から解き放たれ、片やこれから背に負おうとする人の表情は対象的である。あらためて曾根支部長のご尽力に感謝申し上げ、新支部長のスタートが幸先良いものになることを心から祈念したい。



防府支部定時総会報告

防府支部副支部長 山根良吾

防府支部の令和3年度の定時総会は、令和3年4月24日（土）15：00より防府市文化福祉会館の会議室で開催しました。

今年度の防府支部の定時総会は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため委任状出席を推奨し、出席人数を少数に抑えての開催となりました。

会員総数17名中出席9名、委任状出席8名で総会は無事有効に成立し、議長を阿川会員が務めて以下の内容で議事は行われました。

(1) 令和2年度事業報告並びに収支決算承認の件

阿部監事より監査報告があり、挙手多数により承認。

(2) 令和3年度事業計画案並びに収支予算案承認の件

越智副支部長より事業計画の説明があり、今年度は親睦会を防府支部で受け持つことが予定されており、準備も進めているが昨年に引き続き新型コロナウイルスの蔓延状況によっては親睦会の開催、その他の支部活動についても見通しが難しい状況が続いており、状況を注視して活動していく旨の説明がされ、挙手多数により承認。

(3) 令和3年度・4年度支部役員および本部役員・予備役員改選の件

支部役員 支部長 越智隆次会員

副支部長 山根良吾会員

理事（企画） 前田祐史会員

松田幹央会員

本部役員 理事 阿川哲雄会員

綱紀委員 松田光則会員

綱紀予備委員 内田博司会員

挙手多数により3号議案は承認。

昨年に引き続き、支部総会は委任状出席を推奨する形で開催し、出席者はマスク着用、席の間隔を広くし、短時間で議事を終了させるなどの配慮をし実施しました。昨年度は新型コロナウイルスによる影響でほぼ全ての支部行事を行えず苦しい1年になりましたが、今年度においても状況は改善するどころか、新型コロナウイルスは変異型の蔓延でむしろ更に厳しい状況になっています。よって、今年の支部の予定も実際に実行可能かどうか、社会情勢や感染者の状況を注視し検討していくこととなります。今年度は防府支部にとっても親睦会を受け持つという大きな役割を担う年になっていますが、こちらでもコロナの状況次第というところで歯がゆい思いです。

ただ、このコロナ禍であるからこそ、支部役員会や支部研修会をオンラインで行うことを念頭に、ZoomやWebカメラの導入など、会員間で協力しあっていくことで前向きな話し合いも出来たことはとても良かったと思います。コロナを言い訳にせず、出来ることをやっていたいと思います。



山口支部定時総会報告

山口支部副支部長 梶山 実

日時：令和3年5月12日（水）
15時30分から

場所：山口市惣太夫町2番2号
山口県土地家屋調査士会館2階会議室
出席者 27名（本人15名、委任状12名）
会員総数 32名

令和3年5月12日に山口支部総会が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ドア・窓を全開で換気を良くして、また席の間隔を空けマスク着用で開催いたしました。

大森理事の司会のもと総会は進められ、最初に益田支部長より挨拶がありました。続いての来賓挨拶は、大來副会長により杉山会長の祝辞を代読、同じく政連の大來会計責任者より三好会長の祝辞を代読いただきました。次に益田支部長より、会員の異動状況の報告（入会4名、退会1名）がありました。そのうち出席者の齋藤会員、吉岡会員、荒木会員から挨拶がありました。

続いて大來会員が議長に選任され以下の議案について審議が行われました。

- 議案第1号「令和2年度事業報告並びに収支決算監査報告及び承認の件」
- 議案第2号「山口県土地家屋調査士山口支部会員選任の件」
- 議案第3号「山口県土地家屋調査士会本部役員選任の件」
- 議案第4号「令和3年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認の件」

いずれの議案も承認可決されました。

これにより、山口支部定時総会は平穩無事に閉会を迎えました。



萩支部定時総会報告

萩支部支部長 河内浩己

令和3年3月27日（土）の支部理事会で、書面議決とすることを決定した。

議事

第1号議案 令和2年度事業報告、収支決算報告承認の件

第2号議案 令和3年度事業（案）、収支

予算（案）承認の件

第3号議案 役員改選の件

上記の全ての事案について、全員の支部会員が賛成した。

宇部支部定時総会報告

宇部支部副支部長 松村幸雄

令和3年5月14日（金）午後5時より、国際ホテル宇部にて第74回宇部支部定時総会が開催された。今年は、新型コロナの影響により山口地方法務局宇部支局の来賓の招待はしなかった。出席会員も例年よりは少なく、委任状による会員が多かった。本総会后、懇親会が催されなかったため、出席会員には弁当が配られた。

宇部支部では令和3年3月10日付で内田明宏会員（美祢市）の入会があり、自己紹介があった。また、令和3年3月31日付で瀬口潤二会員（山陽小野田市）の退会があり、土地家屋調査士としても貢献されてきており、惜しむ声もあった。

定時総会では、下記議案を審議し、原案通

り承認可決された。

会員数 37名

出席会員数 16名

委任状による会員数 17名

第1号議案 令和2年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

第2号議案 令和3年度事業計画並びに収支予算審議の件

第3号議案 支部役員改選の件



下関支部定時総会報告

下関支部副支部長 山田篤志

日時 令和3年5月12日（水）午後6時30分より

場所 下関市幸町8番16号 下関市勤労福祉会館 2階 第1会議室

下関支部会員総数 47名

出席会員数 18名（委任状出席19名）

第1号議案 令和2年度事業報告・収支決算報告承認の件

第2号議案 令和3年度事業計画案・収支予算案承認の件

第3号議案 役員任期満了による改選の件

さて、コロナ禍2年目での総会です。昨年

の頃は、来年は落ち着くだろうから旅行へ行かず、なんて言っておりましたが、とんでもない話となりました。八田支部長からの総会案内には、恒例となっている司法書士会下関支部との合同総会を取りやめること、来賓のご臨席もご遠慮いただくことが記載され、今まで会場としていた東京第一ホテルも廃業となり、会場を変えての寂しい総会となりました。議案はいずれも可決され、星本支部長での新体制となりました。ワクチン接種が進んでおりますが、来年こそは平常を取り戻していることを期待し、万全の総会が開けることを願っております。

杭の日「無料相談会」報告

杭の日「無料相談会」開催場所・件数

日時	場所	件数
9月1日(水) 10:00～15:00	山口地方法務局岩国支局 1階会議室 岩国市錦見一丁目16番35号	3
9月1日(水) 10:00～15:00	山口地方法務局周南支局 周南市周陽二丁目8番33号	15
9月1日(水) 9:00～15:00	山口県土地家屋調査士会館 1階ロビー 山口市惣太夫町2番2号	3
8月29日(日) 10:00～15:00	フジグラン宇部 1階 ドコモショップ向かい 宇部市明神町3-1-1	4
合計		25

岩国会場

岩国支部理事 西田 稔

日 時 令和3年9月1日
午前10時～午後3時
場 所 山口地方法務局岩国支局
相 談 員 2名
相談件数 3件（午前2件、午後1件）

今回は、コロナ禍の開催となりましたが、3件の相談がありました。

相談内容

- 1、土地は利便性が悪く、建物は古く相続人はだれも欲しくないの、何とかしてもらいたい。
- 2、古い団地造成で家の前の道が公道となっておらず、改修等が難しく、また、市町村も受け取ってもらえない。

- 3、団地内の家の裏山の一部を購入したが分筆等の手続きがされておらず、地権者の会社も倒産しており問い合わせができない。

以上の3件でした。

それぞれの事案により明快な答えを回答することはできませんでしたが、相談先等を詳しくご説明いたしました。

現在、山口県では、コロナ禍で集中対策期間が実施されております。

そのような状況下において、法務局の方が万全な対策をしていただき、相談者共々安心してお話ができました。ご協力誠にありがとうございました。



周南会場

周南支部理事 角西泰己

日 時 令和3年9月1日 水曜日
午前10時～午後3時
場 所 山口地方法務局周南支局
3階会議室
相談件数 15件

先日から降り続いた雨も落ち着き、好天の中上記の通り、杭の日無料相談会を開催しました。

昨今からの新型コロナウイルスの蔓延状況により相談者が来られるか不安でしたが、予想を反し多数のご来場を頂き、改めて土地家屋調査士としての社会貢献の必要性を感じる事ができました。

相談内容ですが

- ・境界標識を設置したいが隣接土地所有者が立会に応じてくれない。
- ・敷地前面の共有道を拡幅する為、費用を支払ったが自己の持分のない共有道であった。通行権を主張する為、持分の一部を取得したい。
- ・自己所有地と隣接地との境界立会の依頼があり現地立会に応じたが、現況のブロック

塀を境界とすると自己所有地の実測面積が登記面積より大きく減少するとの説明を受け承諾するべきか悩んでいる。

- ・地籍調査の実施により自己所有地と認識していた土地が他人の所有地であるとの説明を事業者から受けたが納得がいかない。
- など多数の相談がありました。中には土地家屋調査士の業務範囲外の相談もありましたがご相談者の方は概ね御理解、御納得の上帰路につかれたのではないかと感じております。

コロナ禍により相談窓口も縮小しており、多数のご相談者の方にお待ちして頂くような状況であった為、今後の課題もみえた相談会でした。

全体的に感じた印象ですが、ご相談者の多数がご高齢者であることは以前から変わりませんが、相談目的が子供に迷惑を掛けたくないで自分の代で財産整理をしておきたいと内容が多数でした。いわゆる終活と言われていますが、相続登記を義務化する改正法案が可決された事も起因しているのではと感じた一日でした。



山口会場

山口支部理事 大森淳一

日 時 令和3年9月1日(水)
午前9時から午後3時まで
場 所 山口県土地家屋調査士会館1階
ロビー
相 談 員 2名
相 談 件 数 午前3件、午後0件 計3件

山口県土地家屋調査士会館1階ロビーにて、杭の日無料相談会を行いました。

入り口に消毒液及び検温機、テーブルには透明の亚克力板の設置にてコロナ対策を行いました。ここ最近山口県の感染者数が増え、山口会場における事前の問い合わせも無い状況で、来場があるかどうか不安でしたが3組の来場がありました。

相談内容としては、県外の土地を所有しているが、その土地が筆界特定の関係土地となり法務局から書類が送られてきて一体何のことだか理解できず不安です、という相談や、根抵当権の債務者となっているが、土地を分筆してその部分の根抵当権を抹消できるかという相談。また、市が自分の自宅の土地の一

部を道路として工事しており市とトラブルになっているという相談内容でした。筆界特定の相談については法務局より送られてきた書類を確認し、資料が少ない中でしたが筆界特定がどういうものであるのかという説明から始まり今後の対応をアドバイスしました。相談者は突然の書類に驚かれていた状況で、法務局に対してもう少しわかりやすい書類を送って欲しかったという要望をお持ちのようでした。市報にて相談会があることを知り、自分の仕事を調整までしてお越しいただいたようです。

感じたことは不動産の登記や境界に関して、一般の土地所有者が自分で対応することはなかなか難しく、土地家屋調査士の力が必要ということです。中には不動産に関しての悩みを持っているのに、どうしてよいかもわからずに放置している人もいるのかも想像してしまいました。こういう相談会の機会を増やして土地家屋調査士が広く国民に認知され、身近な存在となることが大切であると思いました。



宇部会場

宇部支部企画委員 村田 淳

日 時 令和3年8月29日（日）
午前10時～午後3時
場 所 フジグラン宇部1階
ドコモショップ向い
相談委員 午前4名・午後4名
相談件数 4件

雨模様が続くなか、本日は、久々の晴天に恵まれてはいましたが、山口県ではデルタ株感染拡大防止集中対策が実施されていることもあり、無料相談会会場のフジグラン宇部店内の客足は多くはありませんでした。そのような状況下、昨年と同じ位置に相談会場を設置して「杭の日無料相談会」を実施しました。

相談件数は、午前中2件、午後2件の計4件、相談者の年齢層は63～79歳でした。相談内容と回答は以下のとおりです。

午前

1. 土地売却に際して隣地との境界線が一部不明、現状有姿で売却しても良いか。
回答：境界は大切なので確認後に売却することをおすすめした。
2. 自己所有のはずの土地が見当たらない（官公署が作成した分筆予定の地積測量図を持参された）。
回答：分筆未了の可能性があるので、関係



官公署に問い合わせさせていただきよう、伝えた。

午後

1. 親名義の土地の相続登記とその土地の売却価格についての相談。
回答：司法書士への相談、不動産業者へ問い合わせる旨を助言した。
2. 農地に息子が家を新築する際に注意すべき点は。
回答：その土地の用途地域の確認と農地転用の許可の見込みを、まずは確認することをお教えした。

我々が回答すべき相談内容は、午前の1件でした。相談者が少なかった分、時間をかけて丁寧に対応することができました。

第12回全国一斉不動産表示登記無料相談会報告

広報部理事 廣石 勝

去る、令和3年7月30日（金）の10時～17時まで、山口県土地家屋調査士会館の1階ロビーにて、全国一斉表示登記無料相談会を開催した。事前にサンデー山口にも、この相談会の広告をした。

この相談会は当会広報部が担当し、午前と午後に分けて、各2名ずつ、西村暢夫部長と荒川猛理事と乗川慎二副会長と私に分かれて、相談員に当たった。

午前の部には、例年のとおり、法務局に相談員の依頼をしたところ、山口地方法務局より隈井隆之表示登記専門官にお越しいただいたが、午前中は相談がなかった。

午後1時には、ようやく1名相談者が来られ、相談員としては、ほっとした次第である。

リース会社から相談で、内容は「建築確認書がある、鳥の鶏舎で、長さ100mの幅40m

という大変広い建物で、鉄骨造合金メッキ鋼板葺で壁に囲まれているが、登記できる建物だろうか？」というものだった。リース会社が当該建物の建築資金を貸付しているので、相談にお来られたようである。広島県内の中国山地で、農業経営の会社所有の鶏舎の登記事項証明も見せられた。相談員としては、「同じような建物の登記があれば、登記できる。即ち屋根があり、土地に定着し、囲いがあれば、登記が可能である。表題の登記料は所在の筆数によるだろう。」と答え、相談者は満足された様子だった。

土地家屋調査士の業務の中でも珍しい、中々依頼がない表題登記であるので、皆様の参考になるのでは、と思います。こうして相談会は問題なく終了した。



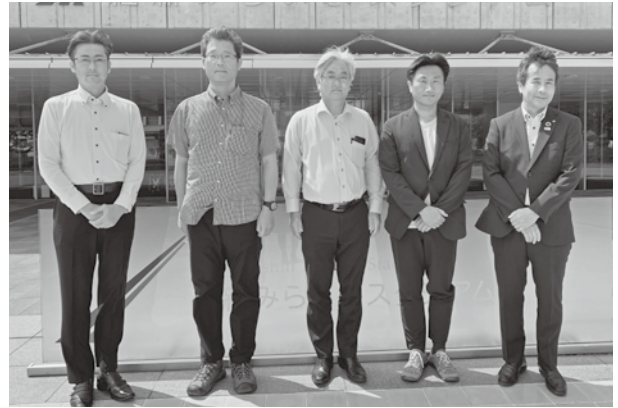
各部紹介

総務部

財務部として2期4年間お世話になりましたが、今期から総務部長をさせていただくことになりました。相談苦情への対応等多岐にわたる総務活動の中、初めて経験することばかりで心が引き締まる思いと、不安が交錯しています。

大來博康総務担当副会長はじめ西田泰則理事、米原太一理事の強力メンバーに加え、引続き事務局の方々のサポートを仰ぎながら、風通しの良い総務部をめざしながら会務を進めて参ります。2年間よろしくお願ひします。

(原田常任理事より)



左から 大來博康副会長、西田泰則部員、原田英樹部長、米原太一部員、杉山浩志会長

財務部

今期から財務部長となりました中川です。乗川副会長のもと木下理事と共に財務部を運営してまいります。前期初めて本部理事となり、業務部員として井上副会長、大下部長のもと大変ではありましたが、楽しく勉強させて頂きました。

今期から財務部長として、会員の皆様からお預かりする大事な会費による会の運営を合理的且つ適切に努めたいと思いますので、2年間どうぞよろしくお願ひいたします。

(中川常任理事より)



左から 乗川慎二副会長、中川秀幸部長、木下修治部員、杉山浩志会長

業務部・社会事業部

今期の業務部・社会事業部は、井上副会長のもと、山根理事、安永理事、阿川理事、大下で行うこととなりました。私自身は2期目となります。前期は、コロナウィルス感染症の影響でウェブ形式での研修会も開催しました。今後は、研修内容により集合形式又はウェブ形式で研修会を開催することを考えています。会員の皆様に役立つ研修会を開催いたします。2年間よろしくお願ひいたします。

(大下常任理事より)



左から (前列) 井上哲也副会長、杉山浩志会長、(後列) 大下竜司部長、山根克彦部員、安永健士部員、阿川哲雄部員

広 報 部

今期から、広報部長をさせていただくことになりました西村です。今までは、業務部、総務部の理事をやってきました今期から広報部長を任されることになり、気が引き締まる思いです。

乗川副会長のもと、荒川理事、会報誌の投稿で長年お世話になっています廣石理事と協力して会務を行っていきます。事務局と協力してより良い会報誌の発行はもちろんのこと、土地家屋調査士のPRとして幅広い広報活動を行っていきたいと思いますので、2年間よろしくお願い致します。

(西村常任理事より)



左から 乗川慎二副会長、西村暢夫部長、廣石勝部員、荒川猛部員、杉山浩志会長

境界問題解決支援センターやまぐち

「隣から大きな木の枝が伸びてきて困っている。」「隣が作った塀がうちの土地を取り込んでいるようだ。」・・・相隣関係も含めて様々な境界問題の相談が寄せられます。法的な助言を受けるため弁護士と調査士による相談を活用していただくほか、調停では当事者双方のより良い関係のため解決のお手伝いをします。偶数月に1回、法務局・弁護士会・調査士会の三者合同による無料相談会「境界問題相談所」も開設しています。

(大田センター長より)



左から 山根克彦副センター長、林弘運営委員、大田浩治センター長、浦井義明運営委員、杉山浩志会長

財産管理人支援センター

財産管理人支援センターは、昨年全4回の連続研修を終え、令和3年3月23日に、山口地方・山口家庭裁判所所長へ財産管理人候補者名簿を提出いたしました。

土地基本法の一部改正により所有者不明土地対策が施され、管理も「人」から「物」へと変わろうとしている中、関係機関との連携を深め、研修を行い、皆さんの業務が円滑に進んでいく方向を目指して活動しておりますので、会員各位の温かいご協力ご支援をお願いいたします。

(大來委員長より)



左から 八田廣運営委員、大來博康運営委員長、杉山浩志会長（モニター画面内）、瀬口潤二顧問、山根克彦運営委員

山林地図検討委員会

山口県内に存在し、所在が確認できた絵図につきましては、スキヤニングが完了し、字名の解読も完了しており、会員の皆様からの申請により絵図情報を提供しております。

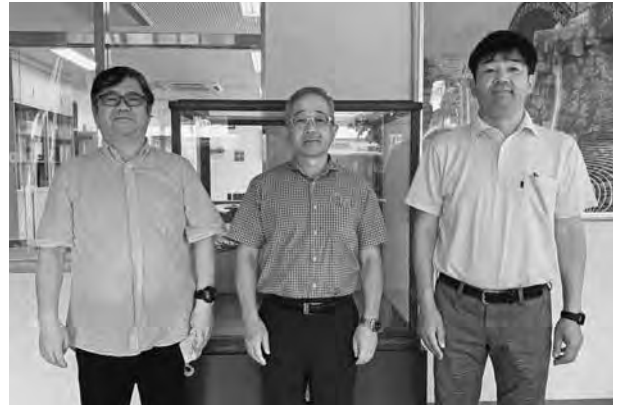
ただ、所在確認ができた絵図の数が少なく、会員の皆様方のご期待に添えないことも多いのが現状です。各市町の地域交流センター等における山林絵図の保管情報がございましたら事務局までご連絡ください。引き続き絵図の収集を行う予定です。

又、既に御案内はしておりますが、県調査士会Webサイト上でKMLデータがダウンロードできます。こちらはデータ処理を終えたものから順次公開しております。

最終的には山口県内の全てにおいて、GoogleEarth上にて山林地番の位置の特定をするうえでの参考資料となるシステムを構築してゆく予定です。

ご覧になられていない会員の方は、下記の要領にて、御確認下さい。

山口県土地家屋調査士会→会員専用→山林地図検討委員会→KMLデータダウンロード
(渡邊副委員長より)



左から 渡邊英雅副委員長、井上哲也委員長、古江直樹委員

監 事



左から 杉山浩志会長、浦井義明代表監事、竹下治監事、篠田智昭監事

事務所紹介



周南支部

戸倉茂雄 事務所

周南市梅園町二丁目31番地

とくらしげお
会員氏名 戸倉茂雄

Q. 家族構成・(事務所のスタッフ)について教えてください。

妻と二人暮らし。

長男、次男、長女と孫2人は、全員東京在住。コロナ禍、直接会えないので、たまに、リモート立会を行っています。

Q. 事務所の所在地について教えてください。

周南市梅園町。周南市役所の近くです。

Q. 趣味・特技・自慢・(最近ハマっていること)などについて教えてください。

写真撮影、古本収集、街歩き食べ歩き(孤独のグルメ)、旅行

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは?

日本土地家屋調査士会連合会の役員時代、業務部のメンバーと不動産登記規則第93条ただし書き調査報告書の改定に携わり、法務省民事局2課の担当者や連合会版の会員向けソフトの作成ため、開発業者との打ち合わせに関わることができたことは、とても思い出深いです。(全国のブロックに説明に歩いた)

Q. 座右の銘、好きな言葉、尊敬する人物等について教えてください。

好きな言葉は「毎日無事」

好きな作家は、永井荷風と池波正太郎、江戸川乱歩。



事務所写真(クラシックビル)



事務所写真(玄関)

Q. 休日の過ごし方について教えてください。
音楽鑑賞（主にROCK）、読書

Q. 将来のビジョンについて教えてください。
原点回帰。初心に戻り土地家屋調査士業務を楽しみたい。

Q. 好きな食べ物、嫌いな食べ物
仕事後のビールは最高の至福の時間です。

Q. 広報部への要望などありますか？

連合会広報部時代、送られてくる全国の会報誌を読みました。各会の個性を感じることができとても興味深かった。ぜひ、他会の情報に接してほしい。

Q. 使用している光波、測量ソフト等を教えてください。又、その良いところは？
よくあるTSによくある測量系ソフト



事務所風景（事務所のスタッフ一同）



測量風景（猛暑の中、地図作成業務にて）



作業机

事務所紹介

周南支部

角西泰己 事務所

光市大字立野1385番地17



かどにしたい き
会員氏名 角西泰己

Q. 事務所の所在地について教えてください。

JR山陽本線島田駅から車で約5分の位置にあります。近くに2級河川島田川が流れており、山、川、田に囲まれた自然豊かな環境です。このシーズンは遅くまで残業しているとカエルの大合唱が始まり良いBGMとなっております。



Q. 調査士になったきっかけは？

補助者となって10年以上が経過した頃、後輩が調査士試験に合格しました。それまでは調査士試験を受ける気もなく勿論受けたこともなかったのですが、後輩の合格を期にやる気スイッチがONになり5回の挑戦を経て無事合格できました。

Q. 趣味・特技・自慢・(最近ハマっていること) などについて教えてください。

最近では使用される方も少ないと思いますがプロッターで図面を作図していた頃、ステッドラーのペン先が詰まる事がよくありました。中に詰まり防止の細かい針金が仕込まれているのですが、ペン先を洗浄した後に針金をペンの中に曲げずに通さないと使用できなくなるためかなり神経をすり減らして洗浄していましたが、その洗浄技術は相当の腕前だったと思います。(分かる人にしか共感できないと思いますが・・・)



Q. 休日の過ごし方について教えてください。

つい最近まで子供の部活動の試合観戦が趣味でしたがコロナ禍のため保護者すら観戦できない状況になり最後の試合も観戦できないまま引退しました。はやく通常の日常が戻ってきてほしいものです。

Q. 使用している光波、測量ソフト等を教えてください。又、その良いところは？

ソキアのトータルステーションiX-505と測量ソフト福井コンピュータのTREND-ONEを利用しています。他の機種を使用した事がないので長所等分かりませんがトリンプルのトータルステーションを見た時は自動追尾の速さに驚きました。

Q. その他（題材はご自由に）

昨今は固定電話を使用する人が少なく隣接者への挨拶、立会依頼等の電話をかけても繋がらない事が多いです。詐欺や携帯電話の普及により固定電話の必要性が薄れてきている為隣接者との連絡がなかなかとれない現状にお困りの方もいるかと思えます。これといった解決方法もない為、自宅に訪問してお話させて頂くしかないのかと思っております。通信技術は進歩していますが手紙や自宅訪問でしか対応できない矛盾にやきもきしております。

山口青調会の活動

第12回山口県青年土地家屋調査士会定時総会報告

山口青調会 副会長 百合野崇

日 時：令和3年6月12日（土）午後6時00分
から午後6時20分

場 所：オンライン（Zoom）

出席者：14名（委任状6名）
（正会員総数 34名）

議 事：

第1号議案 令和2年度事業報告・収支決算
報告承認の件

第2号議案 令和3年度事業計画案・収支予
算案承認の件

新入会員の紹介

上記のとおり第12回山口県青年土地家屋調
査士会定時総会が開催されました。

役員会で昨年度同様書面決議による総会を
協議しましたが、話し合った結果、オンライ
ンによる総会を初めて試みました。場を和ま

せる私の噛み噛みの司会のお陰で、議事はス
ムーズに終え、去年今年と新入会員も入り、
自己紹介も兼ねた挨拶をされました。個人的
に会員数の多い下関支部以外からの入会者が
増えた事は大変嬉しく思います。

青調会で知り合った会員に、仕事の事プラ
イベートの事など色々と相談しております。
それはこの会があったからこそ、そうやって
他支部の方とお付き合いができていたのだと
実感しております。

今年度も青調会としては、山根会長の元
色々な行事を予定しておりますが、やはりオ
ンラインによる勉強会、飲み会等で会員同士
の親睦がメインとなります。

青調会の目的は人それぞれだと思います。
私たちは普段一人ですが、34名も仲間がいて
困った時に助けてくれる。本当に心強い会で
はないでしょうか。

是非13年目山口青調会に期待して下さい。



会員の作るページ

自主講座開催報告

～ずぼらな虹はタルムード～

岩国支部 浦井義明

- 過去の会報やまぐち投稿
- 51 毎日休養をしています
 - 52 カムテで業務を効率的に
 - 54 支部役員任のあいさつ
 - 57 事務所の「起」管理
 - 58 プロの目
 - 61 住宅地団の事務所
 - 70 GPS管理組合の巻
 - 76 定期報告を続けて

ハイブリッドな土地家屋調査士を目指す
自主講座

アクセスで作る
「調査士事務所の業務管理」

蓄積した業務データを自分なりの情報管理システム

— ずぼらな虹はタルムード —

令和3年8月13日(金)
岩国市民文化会館

レジュメ

参加者にのみ理解できる
講師の造語

アクセスをノートパソコンにインストールして

事務所の業務管理-研修用-

人物・事件

市民データ

事件簿

進捗状況

保留事件

進行事件

未収事件

資料類

登記簿PDF

登記簿 TXT

地図PDF

謄抄本

要約書

電子申請X

知照袋

背書紙印刷

通信文一式

公衆意見表

登記届金票

調査報告書

業務の終了

終了・請求

My-Docu

キャンセル

終了事件

山部・リンク

入力管理

報酬計算

終了

中断

Excel

Memo

Account

グループ

電子メール

印刷

事前に怠りなく予習した宿題のテーマ

虹は何色

終了事件 — データ — エクセル — テーブル

保管・保存 — 情報 — アクセス — クエリー
フォーム



旧世代(前列)と新世代の受講者

事件の受託～終了
業務・情報管理を
ノートパソコン持参し
具体的、実践的に学習した。

登記・測量制度のアナログからデジタル化への実態、利点欠点、
そしてまた、アナログ的業務処理の回想・必要性をも、
世代を超えた有益な会話が飛び交う研修会であった。

「通天閣」 界限

萩支部 廣石 勝

今から45年前に、私が大阪北区の司法書士事務所に補助者として勤務していたときは、給料が少なかった。日曜日になると、司法書士勉強の合間に、気分転換を兼ねて、通天閣周辺に出かけて行った。当時は若いこともあって、好奇心が旺盛で、映画を見て通りを歩いて、物品のたたき売りを楽しく見学し、最後には安居酒屋で一杯飲んで、2畳の狭いアパートに帰るといふ、生活の繰り返しだった。懐（財布）は寂しかったけれども、自分では結構、楽しめたと思っている。

この地域は東京の山谷、横浜の寿町と並び、酔っ払い・ホームレス・日雇い労働者が多く暮らす大阪・西成のあいりん地区（「隣人を愛する」という意味がある）と呼ばれている所で、昔はどこか近寄りたきイメージがあった。現在は名前が洒落て、「新世界」と呼ばれている。きらびやかな看板が目立つ商店街、飲食店がひしめく所で、ジャンジャン横丁ありで、今や、観光名所となっている。

通天閣を中心とした、この辺りは様々な事情を抱えた人でも、優しく受け入れてくれる町の雰囲気があり、ここに生きる人々の切なくも暖かい人生、つらい過去の人生を背負いながらも、一所懸命生きている人々がいる場所でもある。

私も、つい最近、あいりん地区を経験したく、昼と夜に通って見て、さらに1泊1700円の安宿に泊ってみたが、中々、治安も良くて、余り不安は無かった。

一面では、面白い街である！という印象を受けた。



事務局だより

会員異動状況

1. 会員退会状況

支 部	地 区	氏 名	退会年月日	備 考
宇 部	宇 部	渡辺 行樹	R 3.5.28	廃業
岩 国	岩 国	沖廣 哲裕	R 3.5.31	廃業
下 関	下 関	山崎 義文	R 3.5.31	廃業

2. 会員数

令和3年9月1日現在会員数

会員数 207 法人数 3

3. 事務所変更

支 部	氏 名	変 更 年月日	変 更 後		
			事務所	TEL	FAX
下 関	田村 求	R 3.4.1	〒750-1142 下関市小月本町2丁目6番12号	(083) 282-1125	(083) 282-1125
山 口	楢山 実	R 3.6.7	〒753-0064 山口市神田町5番3号-102	(083) 920-8301	(083) 920-8301
防 府	阿川 哲雄	R 3.6.30	〒747-0834 防府市大字田島1422番地の78	(0835) 23-7697	-
周 南	林 洋子	R 3.8.2	〒745-0651 周南市大字大河内2105番地の1	(0833) 57-4112	(0833) 57-4112

4. TEL・FAX等変更

支 部	氏 名	変 更 事 項	変 更 後
防 府	阿川 哲雄	メールアドレス	agawa979@c-able.ne.jp

会務報告

開 催 日	会 務	場 所
5月7日(金)	第1回業務部会	(電子会議)
	岩国支部総会	岩 国 市
	周南支部総会	周 南 市
5月11日(火)	中国ブロック協議会監査会・役員会議	広 島 市
5月12日(水)	山口支部総会	調 査 士 会 館
	下関支部総会	下 関 市
5月14日(金)	宇部支部総会	宇 部 市
5月18日(火)	告発に関する対応	下 関 市
5月27日(木)	定時総会打合せ会	調 査 士 会 館
	法務局との協議	山口地方法務局
5月28日(金)	定時総会	山 口 市
5月31日(月)	正副会長会議	調 査 士 会 館
6月3日(木)	連合会定時総会に係る開催方法についての説明会	(電子会議)
6月8日(火)	総務部引継ぎ	調 査 士 会 館

開 催 日	会 務	場 所
6月10日(木)	第2回理事会	山 口 市
6月11日(金)	連合会定時総会事前説明会 (Web)	調 査 士 会 館
6月14日(月)	第2回境界問題解決支援センター運営委員会	調 査 士 会 館
	非調査士対応	下 関 市
6月15日(火)	日調連定時総会	東京都・(電子会議)
6月18日(金)	財産管理人支援センター運営委員会	調査士会館・(電子会議)
6月21日(月)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	調 査 士 会 館
6月25日(金)	中国ブロック協議会定例総会	岡 山 市
	第2回業務部会	調 査 士 会 館
6月30日(水)	支部長会及び選挙管理委員会	(電 子 会 議)
7月2日(金)	第1回広報部会	調 査 士 会 館
	山林地図検討委員会	調 査 士 会 館
7月7日(水)	第2回総務部会	調 査 士 会 館
7月9~11日(金~日)	A D R 特別研修基礎研修	広 島 市
7月21日(水)	中国ブロック協議会役員会議	広 島 市
7月27日(火)	山林絵図調査依頼	長 門 市
7月30日(金)	全国一斉不動産表示登記無料相談会	調 査 士 会 館
	第3回業務部会	調 査 士 会 館
	第2回本部研修会リハーサル	調 査 士 会 館
8月5日(木)	第4回業務部会	調 査 士 会 館
	第2回本部研修会	(ウ ェ ブ 研 修)
8月6日(金)	第2回財務部会	調 査 士 会 館
8月9日(月)	国会議員来訪対応	調 査 士 会 館
8月11日(水)	境界問題相談所開設	山口地方法務局
8月19日(木)	第5回業務部会	(電 子 会 議)
8月20・21日(金・土)	令和3年度A D R 特別研修集合研修	広 島 市
8月22日(日)	令和3年度A D R 特別研修総合講義	広 島 市
8月23日(月)	会報編集会議	調 査 士 会 館
8月26日(木)	山口県土地家屋調査士会、山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会及び山口県土地家屋調査士政治連盟による三者協議会	(電 子 会 議)
	第2回常任理事会	(電 子 会 議)
8月30日(月)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	山 口 市

広報部より

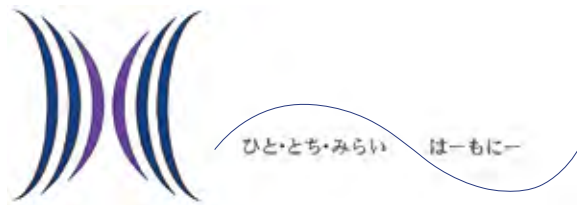
編集後記

今年度より理事を拝命し、広報担当理事をさせて頂くことになりました。いつもは『会報やまぐち』が事務所に送付されて目を通す程度に読んでいたのですが、今年度より会報誌編集に携わり編集の大変さを身に染みて感じるようになりました。今さらですが『会報やまぐち』を制作して下さっていた先輩方に感謝です。

せっかく会報誌編集に携わることができたので、会報誌でできること、できないことを自分で判断するのではなく、持ち前のアイデアを積極的に編集会議に出して恥をかいていこうと考えています。そして会員の皆様の協力なくして会報誌は成り立ちません。どうぞ事務所紹介の原稿依頼の電話があった時には、快くお引き受けくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

(広報担当理事 荒川 猛)

発行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922-5975
FAX (083) 925-8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 杉山 浩志
広報担当副会長 乗川 慎二
広報部長 西村 暢夫
理 事 荒川 猛
〃 廣石 勝
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net